



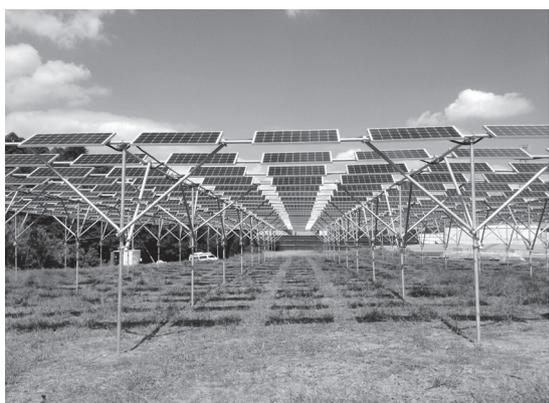
問 ソーラーシェアリングの導入を図ってみたいが
答 先進事例を調査し、取り組みを検討する

無党派 相沢 一正 議員

議員 ソーラーシェアリングの持つ理念と実際についてどう思うか。

建設農政部長 ソーラーシェアリングは、農業生産を続けながら発電事業を行う。土地の有効活用につながる。ことから各地で取り組みの事例が見られた。平成25年3月の農水省通知でこの発電に当たっては、太陽光パネル基礎部分の農地の一時転用許可を要し、営農面では農作物の品質保全や収穫量の維持等を義務付けた。営農の継続が前提なので生産者にとっては条件が厳しくなった。このソーラーシェアリングに関する申請は、本村ではまだない。

議員 この事業は自然エネルギーの普及や農地の有効活用という視点から施策として促進を図るべきではないか。特に農家自身が収入を確保し



ソーラーシェアリング設備
(ソーラーシェアリング協会HPより転載)

経営安定化を進めるためにも、一石二鳥の取り組みと思う。先進的な事例を現地調査してみてもどうか。

建設農政部長 日陰が作物の収量増に結びつく試験結果もあり、先進事例の調査の上、農家の所得向上の観点から検討する。



問 図書館交流ラウンジで就労支援ができないか
答 福祉的就労支援として喫茶コーナーを検討中

公明党 岡崎 悟 議員

議員 平成23年12月議会で、障がいのある方への就労支援として、図書館交流ラウンジでの喫茶コーナーの開設を求めた。その後も、図書館の来館者は増えているが、図書館に福祉的就労支援としての喫茶コーナーの開設ができないか。

教育次長 交流・滞在型の図書館として、定着してきている。図書館交流ラウンジに、福祉的支援として、喫茶コーナーが開設されれば、住民へのサービス向上に繋がるものと思う。村内複数のNPO



図書館交流ラウンジ

法人等に伺ったところ、意欲的である。少し時間が必要であるが、運営等について詳細を決めていきたい。

問 産後ケア施設利用費への支援助成を求める
答 有効な支援助成である。前向きに考える

議員 本年の3月議会で、産後ケア施設利用者への支援助成を求めた。産後ケア施設が開設された折には、助成に向け検討すると答弁があった。その後の進捗を伺う。

福祉部長 本村に助産院が開設され、産後ケアを受けることができる体制が整いつつある。産後間もない母子に非常に有効な支援である。費用助成等を前向きに考えたい。